

農場内での拡散防止

I 拡散防止の基本

外部から入ってしまう病原体もその場で止まるのであれば、被害は拡散しません。子牛、分娩前後など弱い牛の口元に病原体を運ばないように、農場内での拡散防止について今一度確認しましょう。

病原体を拡散するもの！ 人、機械、雨水の流れ、ペットなど



人は歩き回ります



機械の共有は・・・

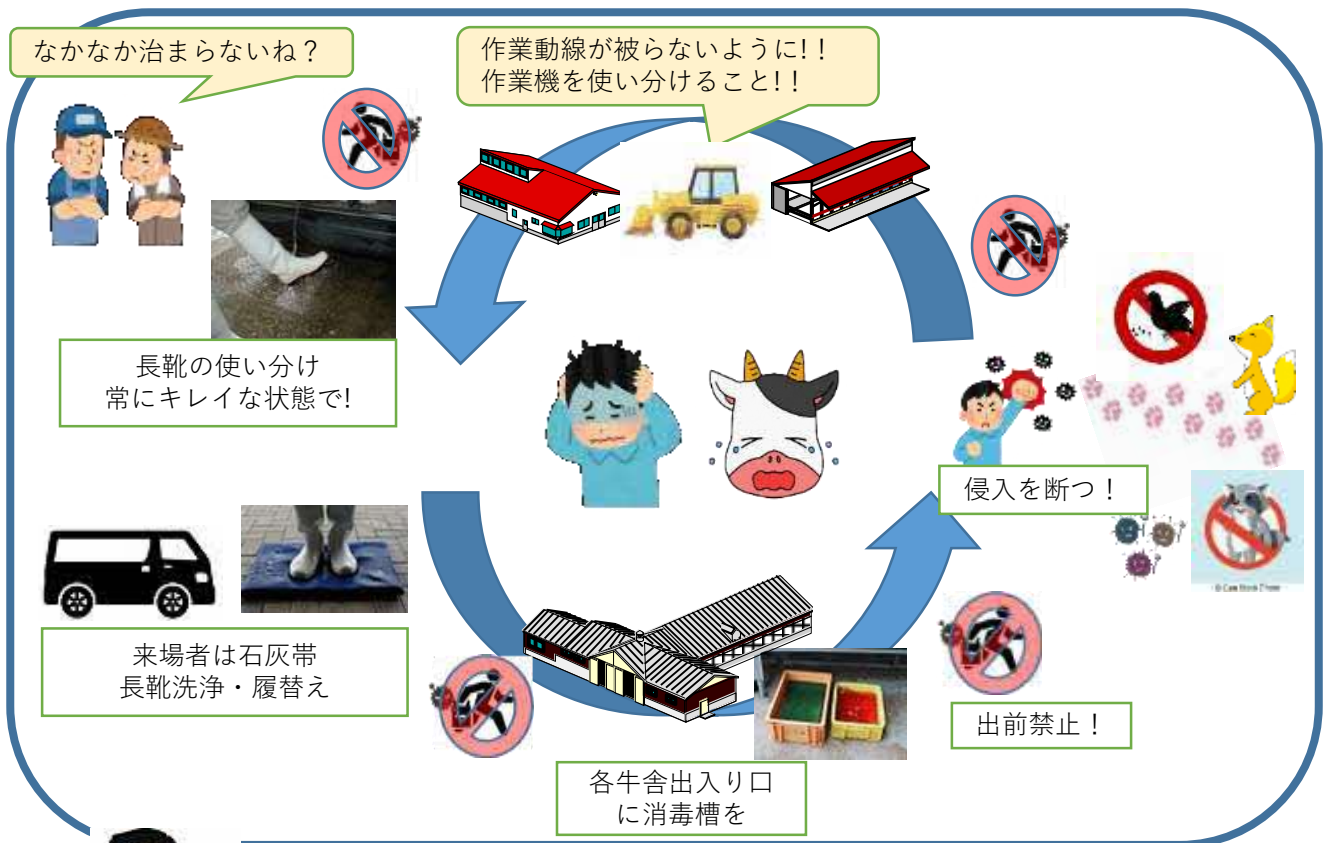


雨水、泥水が拡散



ペットはどこにでも行きます！

農場内の拡散防止フロー



すべては、牛の口元への病原体侵入を断つ!

- 1 持ち込ませない!!
- 2 持ち回らない!!
- 3 持ち出さない!!

農場内で感染リスクが高い場所

《 ハイリスクポイント 》

牛の口に入るところ



飼槽や水槽はキレイにされていますか？

ひび割れや隙間など汚れの溜まりやすい場所や湿気の多いところは菌の温床です。キレイ、清潔にすることが必要です。

牛の口へ運んでしまうもの



長靴や機械など汚れていませんか？



牛舎内でペットが飼われていませんか？

農場で放し飼いされていた犬から菌が検出された事も！！

知らず知らずの間に農場内に菌を広めている可能性があります！

環境(排水・地盤・通路)

パドック内や飼槽スペース前に水の通り道ができていませんか？

ぬかるみ、水たまりでは牛体、趾蹄に菌が付着し、拡散するリスクが高まります。



除糞、堆肥運搬作業のタイヤ跡が給餌用通路に残っていませんか？

タイヤ跡に潜んでいた菌を飼槽に拡散させる可能性があります。



牛から牛への伝染

分娩場所はキレイにされていますか？

分娩時は免疫力が低下するため、親子共に感染リスクが高まります。

分娩ごとに清掃、消毒をしましょう



子牛同士がなめ合っていないませんか？

舐め合うことで唾液等を通じて菌が拡散する恐れがあります。

